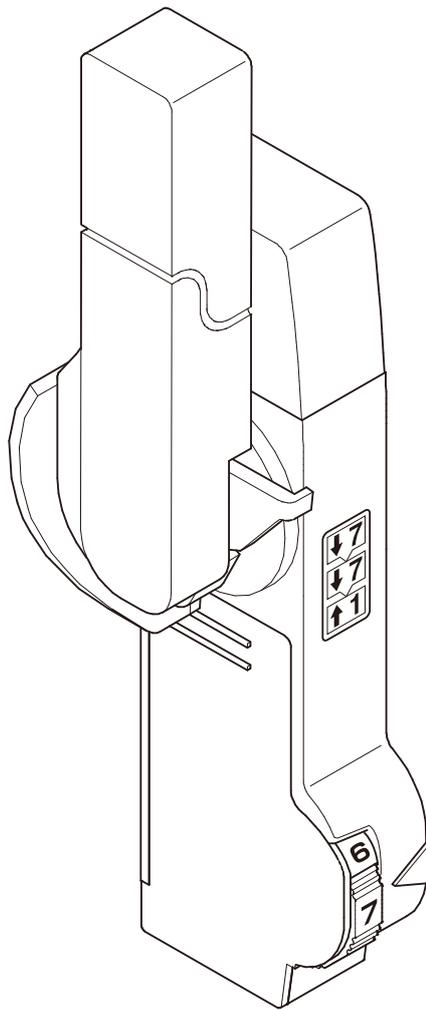


ダイヤル錠付きクレセント

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。
ご注意くださいとともに、大切に保管してください。

目次

■警告用語の種類と意味	1
■重要なお知らせ	1
■特にご注意ください	1
■各部の名称	2
■操作方法	3・4
■解錠番号の変更方法	5・6
■お手入れ方法	7
■故障とお考えになる前に	7
■アフターメンテナンスについて	8
■商品保証について	9

警告用語の種類と意味

警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

警告用語	意味
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

重要なお知らせ

ご使用の前に

- 本商品はあくまでもガラス破りによるクレセント錠を解錠しにくくするための商品です。本商品により防犯性を完全にし、侵入・盗難を阻止するわけではありませんのでご理解をお願いいたします。
- 安全のため、必ずお守りください。
「ダイヤル錠付きクレセント」のご使用およびお手入れの際は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。もしこの取扱い説明書にしたがわず、乱用又は誤用によってケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。
したがって、「ダイヤル錠付きクレセント」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

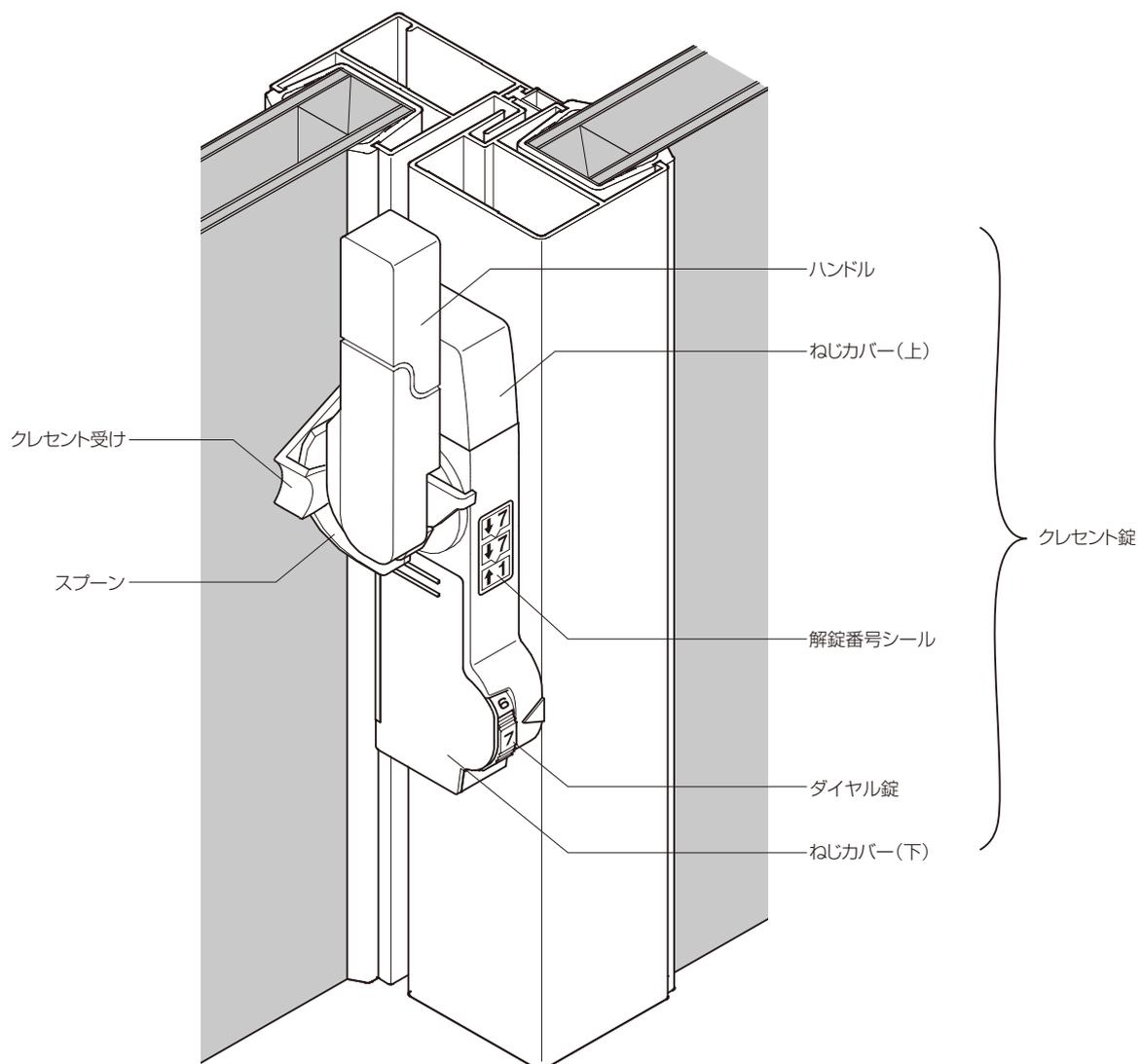
問い合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎ 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	☎ 0120-413-433

特にご注意ください

お願い

- ダイヤルの解錠番号は忘れないようにしてください。解錠番号を忘れるとクレセント錠が解錠できなくなります。
 - ・初期設定はクレセント本体に張付けしている「解錠番号シール」に書かれています。又、お客さまが解錠番号を変更した場合も予備の「解錠番号シール」に変更後の番号を記入し、保管してください。本説明書の解錠番号の変更方法のページにも、解錠番号を記入することができますので、こちらにも解錠番号の記入と保管することをおすすめします。
- ダイヤルの解錠番号の変更は「解錠番号の変更方法」をよくお読みになり、手順にしたがって変更してください。まちがって番号を変更するとクレセント錠が解錠できなくなります。

各部の名称



操作方法

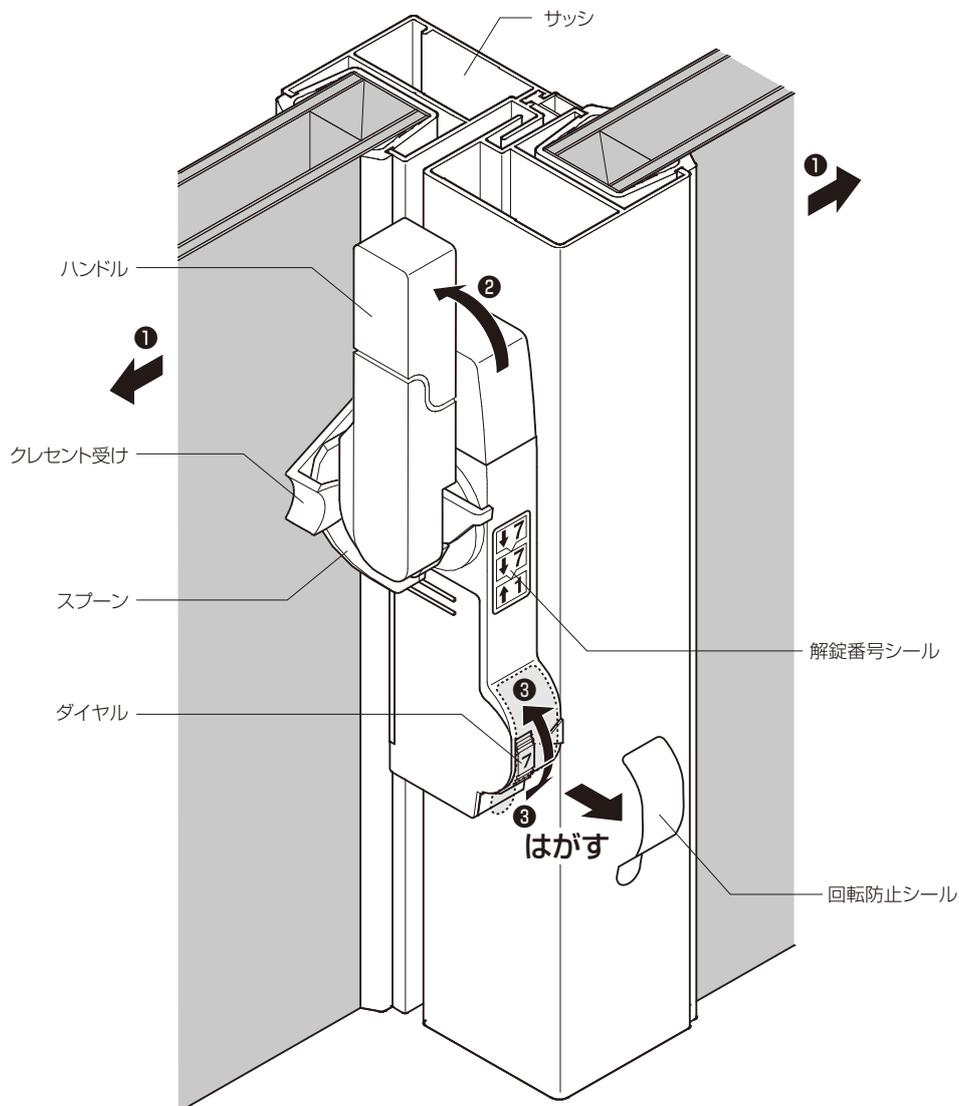
本商品は、ダイヤルの解錠番号をお客さま自身で設定することができます。
(初期設定は、クレセント本体に張付けしている「解錠番号シール」のとおり番号を合わせることで解錠できます。)

■施錠方法

- ①サッシをしっかり閉めます。
 - ②「ハンドル」を回して「スプーン」を「クレセント受け」にかけてください。
※サッシがきちんと閉じていない状態で「ハンドル」を回そうとしても、回すことができません。(空かけ防止機構付き)
 - ③「ダイヤル」を1回転以上回すと、「ハンドル」がロックされます。
※「ダイヤル」の回転は上下どちらの方向でも構いません。1回転以上回すと、ダイヤルの番号は1～8のどの数字であってもロック状態になります。(1回転以上回さないで正常にロックしない場合がございますので、ご注意ください。)
- ※初期設定ではダイヤル部分に「回転防止シール」が張付けてありますのでシールをはがしてご使用ください。

●お願い

- 初期解錠番号はクレセント本体に張付けしている「解錠番号シール」のとおり番号を合わせることで解錠できます。「解錠番号シール」をはがして他の場所に張付けることもできますが、ダイヤルの解錠番号は忘れないようにしてください。解錠番号を忘れるとクレセント錠が解錠できなくなります。「解錠番号シール」はなくさないように保管をお願いします。又、本「取扱い説明書」のP.6にも番号が記入できますのであわせてご利用ください。



■解錠方法

①「ダイヤル」を下方向に回し、クレセント本体に張付けしている「解錠番号シール」の一番上に記載されている番号に合わせてください。(下例の場合は、数字「7」に合わせてください。)

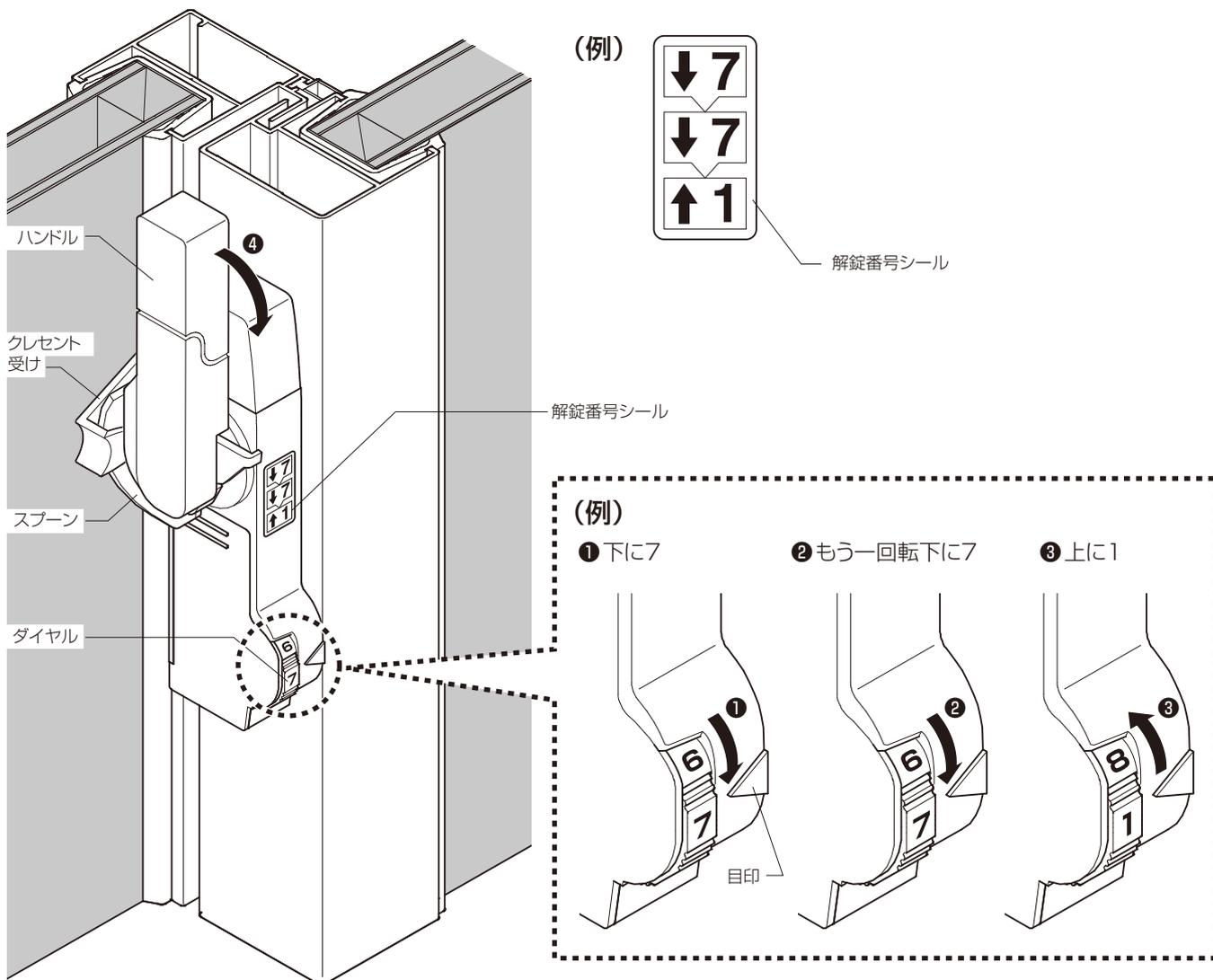
※施錠時、下方向に解錠方法①の数字を通過すると、解錠番号①を認識します。その場合は、解錠方法②、③の操作でロックが解錠されます。

②もう一度「ダイヤル」を下方向に1回転回し、「解錠番号シール」の真ん中の番号(①と同じ番号)に合わせてください。(下例の場合は、数字「7」にもう一度合わせてください。)

③「ダイヤル」を上方向に回してゆき、「解錠番号シール」の一番下の番号(最終解錠番号)に合わせてください。(下例の場合は、数字「1」に合わせてください。)

※この時点で「ハンドル」のロックが解錠されます。

④「ハンドル」を手前に回し、「スプーン」を「クレセント受け」から外すことで、サッシをあけることができます。



解錠番号の変更方法

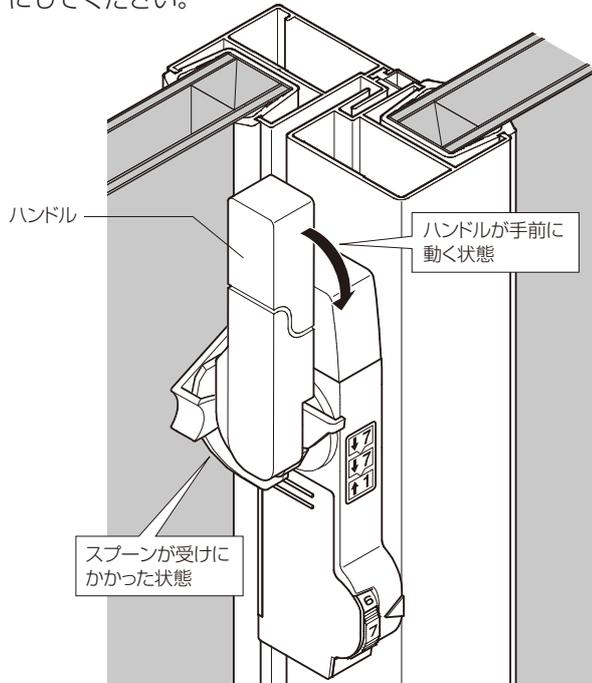
■解錠番号の変更

お願い

- お客さまが変更可能な番号は、最終解錠番号（3番目に合わせる数字）のみとなります。最終番号の前に2回合わせる番号（1番目2番目に合わせる数字）は、初期設定のパターンをもとに（自動で）決定されます。

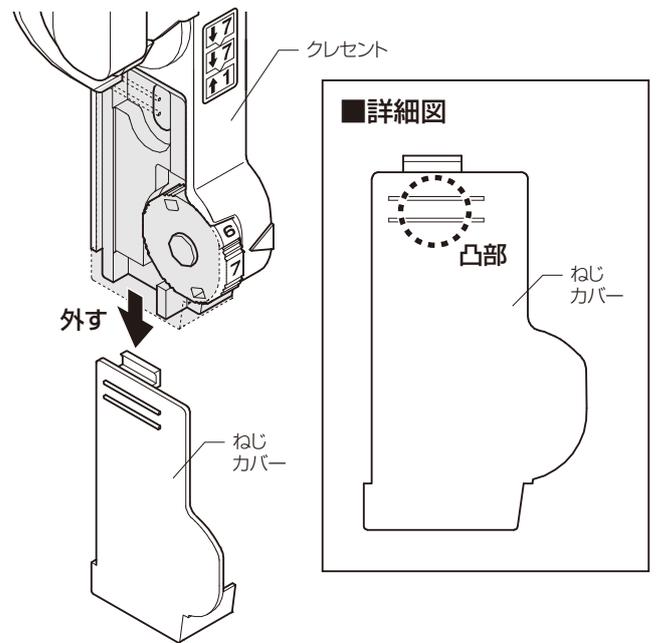
①クレセントを下図の状態（P.4解錠方法の①～③までが完了した状態）にしてください。

※「スプーン」が「クレセント受け」にかかっている状態にしてください。



②クレセント下部の「ねじカバー」を下方向にスライドさせ、外してください。

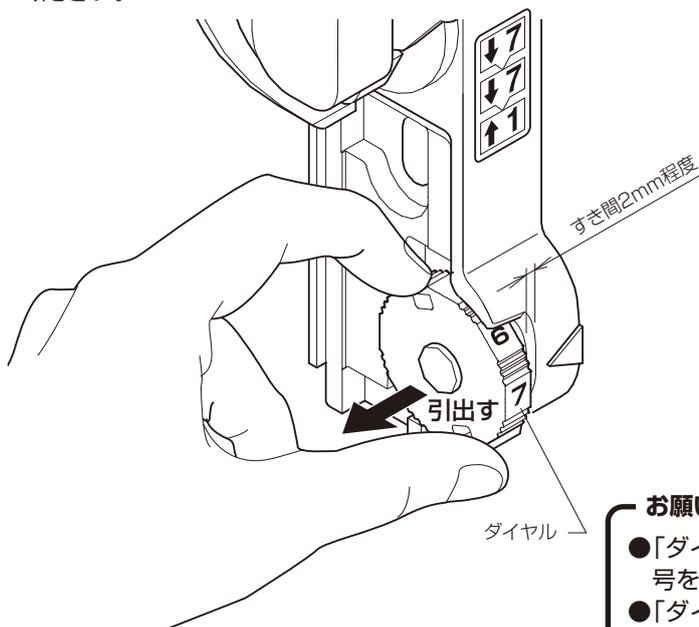
※「ねじカバー」の凸部を下方向にスライドさせると外しやすいです。（下図参照）



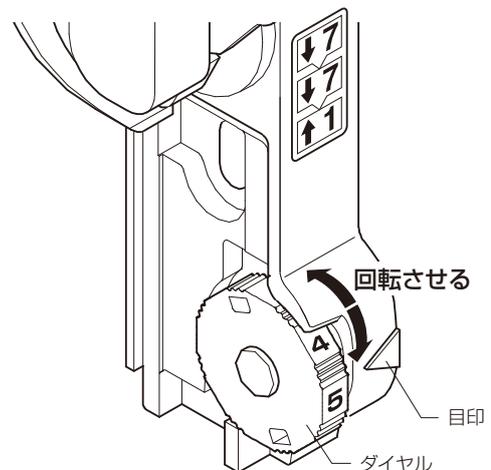
お願い

- ハンドルがロックされた状態（ハンドルが回転できない状態）では番号変更をしないでください。正しい番号に変更できません。

③「ダイヤル」を下図のように垂直につまんで引っ張ってください。



④「目印」に合うように、変更したい番号になるまで「ダイヤル」を回転させてください。

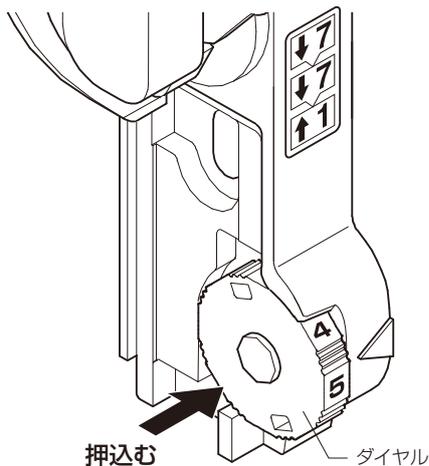


お願い

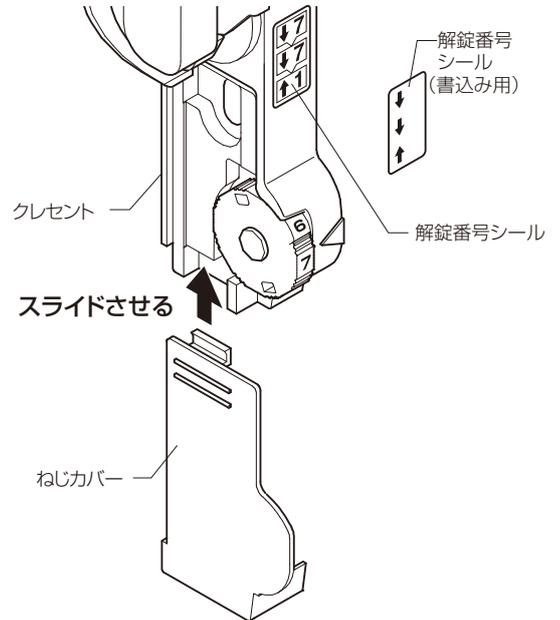
- 「ダイヤル」をきちんと引上げた後、「ダイヤル」を回転させ番号を変更してください。
- 「ダイヤル」がきちんと引上がっていると、「ダイヤル」を回転させても、カチッ、カチッというクリック感がありませんので、それを目安にしてください。

※ダイヤルをつまんで上記のようにすき間ができるまで引っ張ってください。

⑤「目印」と変更したい番号が合っていることを確認後、引上げた「ダイヤル」を元の位置に戻してください。



⑥「ねじカバー」を上方向にスライドさせながら、取付けてください。「解錠番号シール」をはがし、添付の「解錠番号シール（書込み用）」に変更後の番号を書き込み、番号を忘れないように保管していただくか、わかりやすい場所に張付けてください。



■変更後の解錠番号の確認

●解錠番号の変更で、最終解錠番号を設定すると、それ以外の番号は下表のように自動的に変更されます。
※下表A~Fの「初期設定」のパターンを元に、右の一覧表から変更後の番号をご確認ください。

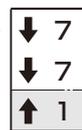
	初期設定	お客さまが設定可能な解錠番号						
A	↓ 8	↓ 1	↓ 2	↓ 3	↓ 4	↓ 5	↓ 6	↓ 7
	↓ 8	↓ 1	↓ 2	↓ 3	↓ 4	↓ 5	↓ 6	↓ 7
	↑ 1	↑ 2	↑ 3	↑ 4	↑ 5	↑ 6	↑ 7	↑ 8
B	↓ 7	↓ 8	↓ 1	↓ 2	↓ 3	↓ 4	↓ 5	↓ 6
	↓ 7	↓ 8	↓ 1	↓ 2	↓ 3	↓ 4	↓ 5	↓ 6
	↑ 1	↑ 2	↑ 3	↑ 4	↑ 5	↑ 6	↑ 7	↑ 8
C	↓ 6	↓ 7	↓ 8	↓ 1	↓ 2	↓ 3	↓ 4	↓ 5
	↓ 6	↓ 7	↓ 8	↓ 1	↓ 2	↓ 3	↓ 4	↓ 5
	↑ 1	↑ 2	↑ 3	↑ 4	↑ 5	↑ 6	↑ 7	↑ 8
D	↓ 5	↓ 6	↓ 7	↓ 8	↓ 1	↓ 2	↓ 3	↓ 4
	↓ 5	↓ 6	↓ 7	↓ 8	↓ 1	↓ 2	↓ 3	↓ 4
	↑ 1	↑ 2	↑ 3	↑ 4	↑ 5	↑ 6	↑ 7	↑ 8
E	↓ 4	↓ 5	↓ 6	↓ 7	↓ 8	↓ 1	↓ 2	↓ 3
	↓ 4	↓ 5	↓ 6	↓ 7	↓ 8	↓ 1	↓ 2	↓ 3
	↑ 1	↑ 2	↑ 3	↑ 4	↑ 5	↑ 6	↑ 7	↑ 8
F	↓ 3	↓ 4	↓ 5	↓ 6	↓ 7	↓ 8	↓ 1	↓ 2
	↓ 3	↓ 4	↓ 5	↓ 6	↓ 7	↓ 8	↓ 1	↓ 2
	↑ 1	↑ 2	↑ 3	↑ 4	↑ 5	↑ 6	↑ 7	↑ 8

□ …最終解錠番号

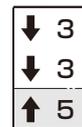
(例) ↓ 7 の最終解錠番号を「1」から「5」に変更した場合



●左の一覧表の「初期設定」のうち、↓ 7 の行 (B行目) を見ます。



●「お客さまが設定可能な解錠番号」の中で、最終解錠番号が「5」のものは ↓ 3 と となります。

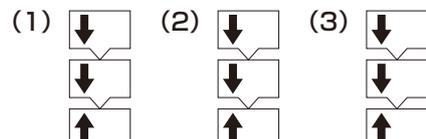


お願い

●変更したはずの番号で解錠できない場合
万一、変更したはずの番号で解錠できない場合は、別の番号で再設定されていることが考えられますので、その場合は、同じ行 (上の例ではB行目) のすべての場合をお試しください。

お願い

- 解錠番号を変更した後は、お忘れにならないよう右の表に記録して保管してください。
- 添付の「解錠番号シール (書込み用)」に記載いただき、番号を忘れないように保管していただくか、わかりやすい場所に張付けてください。



お手入れ方法

- クレセントのハンドル部分には樹脂が使われております。清掃時には水でぬらしたぞうきんで汚れをふき取ります。汚れのひどい場合は中性洗剤を使用し、その後水洗いします。最後に水気の残らないよう十分にふき取ってください。ふき取りが十分でないと表面が変色する場合があります。

お願い

- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤や漂白剤は絶対に使用しないでください。色あせ・変色の原因となります。



故障とお考えになる前に

- クレセントの施錠解錠ができなくなったときは次の手順にしたがってお調べいただき、それでも動かない場合は、お求めの販売店にご相談ください。

現象	原因	対策
クレセントがかからない	サッシがあいている	サッシをきちんと閉めてください。
鍵があかない	誤った解錠番号を回している	正しい番号を回してください。
	回転方向が間違っている	回転の方向は下→下→上で番号を回してください。
	解錠番号の変更をしたときに誤った番号に変更されてしまった 解錠番号を忘れてしまった	解錠番号の変更方法の解錠番号の確認を参考にして、すべての番号をお試しください。
ダイヤルの回転がおかしい (空回りする)	ねじカバーがはまっていない	ねじカバーをはめ込んでください。 ※この場合解錠番号が変わってしまっていることが考えられますので、その場合は解錠番号の変更方法の解錠番号の確認を参考にしてすべての番号をお試しください。
ハンドルを回してスプーンを受けにかけただけでハンドルがロックしてしまう (ハンドルが手前に動かない)	ダイヤルを回してからハンドルを回している	通常通り解錠番号を合わせて解錠してください。

アフターメンテナンスについて

修理を依頼される前に

点検および修理を依頼される前に、取扱い説明書の「**■故障とお考えになる前に**」をご確認ください。

保証について

保証期間中は、保証の規程にしたがって修理をさせていただきます。

保証期間中でも有料になる場合がありますので「**■商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の「**取扱い説明書**」をもう一度確認の上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
 - ②商品名・品番
 - ③ご購入日又はご入居日
- ※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
 - ⑤訪問ご希望日
 - ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL修理受付センター ☎ 0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品代です。

出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（機能を維持するために必要な部品・代替品含む）の最低保有期間は、製造終了後10年です。

※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

キッチン、洗面化粧台、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、販売終了後2年としております。2年経過後は、新シリーズの面材を供給させていただきます。ただし2年に満たない場合でも、面材の供給が難しい場合は、新シリーズの類似面材を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。

リクシルパーツショップ <http://partsshop.lixil.co.jp/shop/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001にご連絡ください。

2014年9月

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■ **対象商品** サッシ・ドア商品

■ **保証期間** 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)

注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

*ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。

■ **保証内容** 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合は除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまる場合がありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ **免責事項** 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)
- ②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
(例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)
- ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
- ⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)
- ⑧天災その他の不可抗力
(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合)
- ⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

- 店舗関連商品に関する商品相談は…TEL.03-3638-8152 月～金 9:00～17:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)
- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号	MAJ-286F	事業所コード	CNQ3	2016.2.1 発行
------	----------	--------	------	-------------

